

岩手県口腔保健支援センター

イー歯トープ8020ニュースレター

このニュースレターは、歯科保健医療関係者に配信しています。配信を希望される方がいる場合は、岩手県口腔保健支援センターまで御連絡ください。



第16回岩手県歯科保健大会・フォーラム「歯と健康」の開催結果

12月14日（日）、岩手県情報交流センター「アイーナ」において、第16回岩手県歯科保健大会・フォーラム「歯と健康」を岩手県、岩手県教育委員会、岩手県歯科医師会の主催で開催しました。今回の大会は7月に「イー歯トープ8020プラン（岩手県口腔の健康づくり推進計画）」を策定した直後であることから、メインテーマを「みんなで歯っぴー 手と手をとって ～イー歯トープ8020プラン～」としました。

午前中に行われた県民健康講座（シンポジウム）「障がい児・者の歯科保健医療の推進」では、障がい児・者の歯科保健の現状、歯科保健医療の提供体制等について、行政、特別支援学校、障害者支援施設、大学歯学部障害者歯科、歯科医師会からの発表と意見交換を行い、障がい児・者に対する歯科保健サービスの推進と関係職種との資質向上の必要性が示されました。

午後は「岩手県よい歯のコンクール表彰」をはじめとした各種表彰、なでしこジャパンの大野忍選手の「世界と戦うために」と題したトークライブを行いました。

また、歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクールの優秀作品、イー歯トープ笑顔の写真コンテストの優秀作品を展示した会場前のフロアでは、作品の前で記念撮影をする受賞者の様子も見られました。

当日は荒天で交通機関の乱れ等心配されましたが、歯科保健医療関係者、行政関係者及び県民を中心に300名余の方々に参加していただき成功裏に終了することが出来ました。

ホームページ「第16回岩手県歯科保健大会・フォーラム「歯と健康」の開催結果について」

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/shika/030668.html>



平成26年度学校・行政歯科保健担当者研修会の開催結果

12月17日（水）、岩手県歯科医師会館5階大ホールにおいて、「正しい知識に基づく学校歯科保健活動の推進」をテーマに学校の養護教諭、行政の歯科保健担当者などを対象とした研修会を開催しました。荒天のため、当日欠席を余儀なくされる方もいましたが、55名が受講しました。

<研修内容>

行政説明「イー歯トープ8020プラン（岩手県口腔の健康づくり推進計画）について」では、当センターの小山歯科衛生士が同プランの学齢期の部分を中心にう蝕、歯肉炎、口腔外傷、歯科に係る生活習慣・保健行動等の現状とそれらに対する施策について説明を行いました。

基調講演Ⅰ「学校歯科保健の基礎知識 ー最近の歯科検診で気になることー」では、岩手県歯科医師会理事の中村ますみ先生に、学校歯科保健活動の計画立案と推進のほか、歯科健診のねらいや健診現場での問題点等について症例と対処方法を示しながらご講演いただきました。

基調講演Ⅱ「う蝕予防におけるフッ化物局所応用法の基礎知識」では、う蝕予防を進める上でのフッ化物局所応用法の必要性、有効性及び安全性について当センターの森谷歯科医師が講演しました。



研修会風景



平成26年度地域歯科保健医療従事者研修会の実施

平成26年度地域歯科保健医療従事者研修会が県内各保健所で開催されています。12月4日（木）には「宮古地域歯科保健医療従事者研修会」が「イー歯トープ8020プラン（岩手県口腔の健康づくり推進計画）の推進」をテーマに宮古地区合同庁舎において開催されました。歯科医師、歯科衛生士、歯科助手といった歯科保健医療関係者のほか、保育士、養護教諭、市町村・保健所職員等、45名が受講しています。

＜研修内容＞

講演Ⅰ「イー歯トープ8020で進める口腔の健康づくり」では、当センターの森谷歯科医師が「イー歯トープ8020プラン」の概要について講演しました。

講演Ⅱ「糖尿病の改善は歯周病の治療から」では、岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野教授 八重柏 隆先生に、歯科の二大疾患の一つである歯周病について、進行の特徴や症状、全身疾患との関連等についてご講演いただきました。歯周病は生活習慣病であること、全身の健康に多くの影響を及ぼすことを示されました。



研修会風景



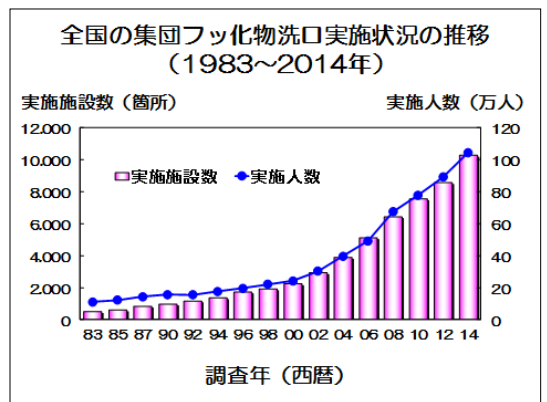
我が国における施設での集団応用フッ化物洗口に関する実態調査（2014年速報値） 一国内で実施施設数1万施設、当該児童実施人数100万人を超える!! 一

NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議は、1970年から施設でのフッ化物洗口実施状況を調査し、う蝕予防のためにフッ化物洗口を啓発普及しています。

同推進会議では、平成26年3月から4月にかけて47都道府県と93保健所設置市を対象に実施した「集団応用フッ化物洗口に関する実態調査」の速報値をホームページ上で公表しています。この報告によると、2014年3月現在、全国の53%にあたる915市町村で、10,287施設の1,044,254人が実施し、前回の2012年調査と比べ、実施市町村数、実施施設数、実施人数とも1.2倍に増加しているとのことです。

岩手県では、21市町村で155施設の5544人が集団応用のフッ化物洗口を実施しています。

ホームページ「NPO法人日本むし歯予防フッ素推進会議」
我が国における施設での集団応用フッ化物洗口に関する実態調査
<http://www.nponitf.jp/newpage202.html>



平成26年度学校保健統計調査結果の速報

文部科学省が毎年実施している学校保健統計調査について、平成26年度の結果速報が1月23日に公表されました。同じ日に岩手県版も岩手県調査統計課から公表されています。

その結果、中学校1年（12歳）の1人平均永久歯むし歯数（喪失歯及び処置歯数を含む）は、全国、岩手県とも1.0本と過去最低になっています。

なお、この調査は抽出調査であること、むし歯の罹患率は永久歯だけでなく乳歯のむし歯も含めたものであることにご留意願います。

文部科学省「学校保健統計調査 平成26年度（速報）の結果の概要」
http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/kekka/k_detail/1354492.htm
岩手県「いわての統計情報」
<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>



わんこきょうだい・そばっち

発行・問い合わせ先

岩手県保健福祉部健康国保課 岩手県口腔保健支援センター
電話：019-629-5468 E-Mail：AD0003@pref.iwate.jp



日本歯科医師会PRキャラクター
「よ坊さん」岩手県バージョン